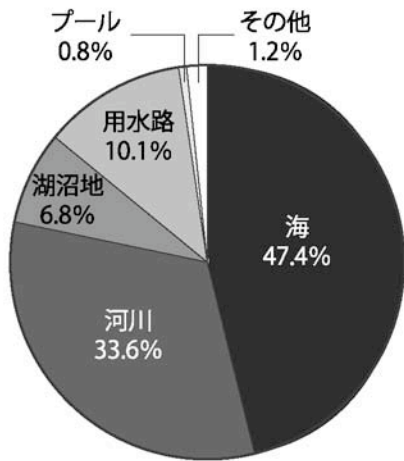




とうま明男の「県政人語」Vol.8

神奈川県議会議員(茅ヶ崎) 2016年 (通算48号)



平成26年 水難場所別死亡・行方不明者の割合(資料:警視庁)

楽しい、水のレジャーの季節が到来です。毎年、後を絶たない水難事故に要注意!

国内外では、九州地方の地震をはじめ、その他にも異常気象が原因と思われる、事件・事故が多発しています。

熊本地震でも五十名の犠牲者を出してしまいましたが、水難事故の犠牲者は、最新の統計では全国で毎年約七〇〇〇〇〇名の犠牲者・行方不明者を出している、熊本地震の十数倍にもなります。

水難事故は五割が海、三割が河川、一割が用水路で発生しています

平成二十六年に国内で発生した、水難事故は一三〇五件で被害に遭ったのは一四九一人です。その内およそ半数

の七四〇人が亡くなったり、行方不明になっています。

水難事故に遭った人は、過去十年間の統計で見ると、年間一五〇〇人〜七〇〇人で推移しています。

自然を甘く見ないことが最も重要です

夏になると、誰もが自然に親しむ、海水浴や河原のバーベキューなどのレジャーに参加する機会が増えます。自然の中で遊ぶことは楽しい反面、自然には思わぬ危険が潜んでいることを、十分に認識をしなければなりません。

自然を甘くみると、取返しのつかないことになってしまいます。

家族や友達との、大切な思い出になるはずのレジャーが、悲しい思い出にならないようにしましょう。

神奈川県や各市町村では、注意を促すチラシやホームページが作られています。下調べを十分行ってください。



茅ヶ崎サザンビーチで楽しむ若者たち

神奈川県や茅ヶ崎市の海岸における安心・安全の確保の条例制定を

茅ヶ崎市でも海でのイベントが多く開催されていますが、地震発生から七〜八分で到来すると予測されている津波に対して、「イベントに参加をしている来場者を避難させる」「避難経路の確保や誘導員の配置」などを、不特定多数の参加者が見込まれる主催者は行政や所管警察署に申請をし、イベント開催の許可をもらうような条例の制定が必要になると考えられます。

県も市も住民の安全と安心を守るとの明言をしていますから、条例化は当然のことと考えます。

みなさんご存知ですか？

観光都市でない茅ヶ崎市では、水難事故の発生件数が比較的少なくなっています。しかし、海岸を利用したイベントが多い一面もあり、地震など災害対策のための条例制定を含む安全の確保が急務です。

シリーズ(8)

県内の主な水難事故救助出動件数に関する状況(消防団を含む)【消防(局)本部別/抜粋】

神奈川県安全防災局消防課資料より

消防(局)本部	平成21年中	平成22年中	平成23年中	平成24年中	平成25年中
茅ヶ崎市	10	4	3	5	9
横浜市	64	58	69	67	66
横須賀市	21	24	13	27	12
三浦市	9	4	17	16	9
鎌倉市	8	8	2	12	2
藤沢市	26	37	20	19	37

川遊びは、急な増水に気をつけて!!

神奈川県河川課資料より



川遊びの5箇条

- 1.川は私たち生き物の源。魚・虫・鳥などの動物や、植物のことをたくさん感じよう。
- 2.川へは一人で行かない。保護者や水泳の熟練者といっしょに楽しく遊ぼう。
- 3.川には魅力もあるが怖いところもある。川のことをよく知り、自分を守ろう。
- 4.川は常に変化している。遊ぶ前に下見して、危険をしめす看板などがあるところは避け、遊んでいるときは天気や水の流れを確認しよう。
- 5.川へ入るときはライフジャケットをきちんと着けよう。

水にはいるときの服装

- ライフジャケット
 - ぬれても良い服装(乾き易い化繊等)
 - 靴: 脱げなくて、ぬれても良い運動靴(ウォーターシューズ等)
- ビーチサンダルは脱げて危険なので使用しないこと

県政、市政報告会・相談会のご案内

日時 6月25日(土) 10時~12時

場所 茅ヶ崎市民文化会館3階第1会議室

相談員 神奈川県議会議員 とうま明男

茅ヶ崎市議会議員 花田まこと

茅ヶ崎市議会議員 藤村ゆかり

※お気軽にお越しください。